

『文化財と技術』

第10号

第一部 美術と技術の歴史

- 山中 理 美術史と金属工芸
—唐時代銀器「鍍金狩獵文六花形銀杯」の周りを廻って—
- 金 跳 咏 原三国～三国時代における鉄製刀剣の製作技術とその意味
- 吉田秀享 鍛冶作業場の推定 —二例の古代鍛冶炉から—
- 上 梶 武 日本古代の鉄鑄造と素材鉄
- 鈴木 勉 韓半島の鑄造技術と毛彫り技術から藤ノ木馬具・法隆寺へ
- 金 跳 咏 三国時代における鉄鐸の副葬と性格
- 平林大樹 根挟みを用いた後期・終末期古墳副葬矢の構造
- 姜 旼 廷 益山・笠店里古墳出土金銅飾履の復元製作研究

第二部 象嵌研究

- 鈴木 勉・金 跳 咏 威安末伊山5号墳出土象嵌鉄刀の線彫り技術
—線彫り技術判定の基準試料の提示—
- 瀧瀬芳之 日本列島内出土象嵌遺物集成2
—刀剣・銚・刀子編（補遺・追加）及び馬具・鏡 他編—

第三部 金石文研究

- 福井卓造 七支刀銘の「為倭王旨造」について
- 鈴木 勉 漧の技術・石刻の技術
- 鈴木 勉 會津八一先生筆色紙「心」について

第四部 復元研究

- <宮地嶽古墳出土大型頭椎大刀の復元研究>
- 鈴木 勉 復元の企画
- 鈴木 勉 復元のための調査と推定
- 藤安将平 (作刀補助：有賀一久・中西裕也 記録：金 跳 咏)
刀身の復元
- 藤安将平 (記録：金 跳 咏)
木製鞘の復元
- 藤安将平 (記録：金 跳 咏)
木製柄の復元
- 山田 琢 金銅装の復元
- 鈴木 勉 鑄造鈴の復元

〈宮地嶽古墳出土大型頭椎大刀の復元研究〉
木製柄の復元

藤安将平（記録：金 跳 咏）

1. 材料の準備

日時：2013年9月1日

- (1) 柄を造る木材を2つ用意する。木材の材質は檜(ヒノキ)である(写真1)。
- (2) 鉤を掛けるために、作業台を設置し、その上で木材の4面を整える(写真2)。
- (3) 設計図から、670×124×37mmの大きさの直方体の形にした(写真3)。
- (4) 今回の復元では頭椎大刀の柄頭の内部も一緒に造るので、別の木材を当ててから、柄の形に線を引いた(写真4～7)。
- (5) 電気鋸を使って柄の形にし(写真8、9)、
- (6) 各木材の内側に茎を当てて、茎が入る部分を彫り出した(写真10、11)。

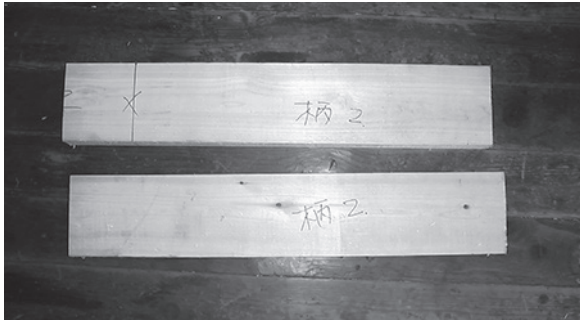


写真1 木材を2つ用意する

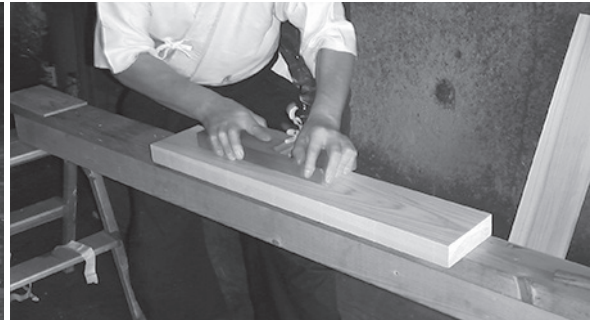


写真2 木材の4面を整える



写真3 670×124×37mmの大きさにする



写真4 柄の形に線を引く



写真5 柄の形に線を引く



写真6 別の木材を当てる



写真7 柄頭の部分

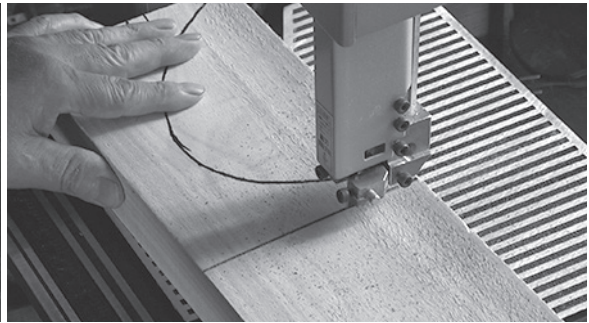


写真8 電気鋸で切る

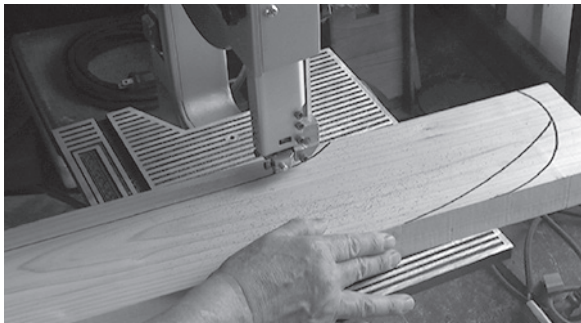


写真9 電気鋸で切る



写真10 茎を木材に当てる



写真11 茎が入る部分を削り出す

2. 木材の接合

日時：2013年9月6日

- (1) 木材の内側にそくいを塗り (写真12)、
- (2) 2つの木材を重ねて接着した (写真13)。
- (3) しっかりと接着させるために紐で縛った (写真14、15)。
- (4) 紐と柄の間に楔を打ち込んで (写真16)、
- (5) 翌日までそのまま置いた (写真17)。



写真12 そくいを塗る



写真13 木材を重ねて接着



写真14 紐で縛る



写真15 紐で縛る



写真16 楔を打ち込む

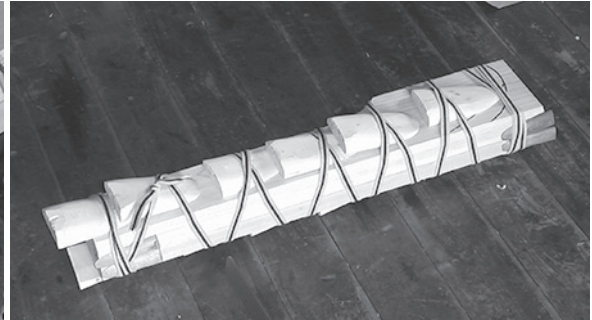


写真17 翌日まで置く

日時 2013年9月7日

- (1) しっかりと接着された柄から紐を外し (写真 18)、
- (2) 柄頭の形を造るために、接着面を整えた (写真 19)。
- (3) 別の木材を当てて、そくいで接着させた (写真 20、21)、
- (4) 再び紐で縛った (写真 22)。
- (5) この時、確実に接着させるために木材と紐の間に楔を打ち込む。そして、1日間そのまま置いた (写真 23)。



写真18 紐を解く



写真19 接着面を整える



写真20 別の木材



写真21 そくいで接着させる

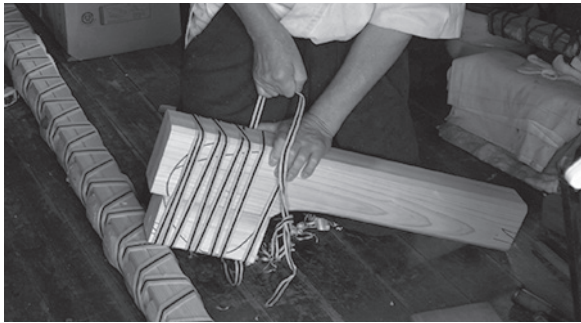


写真22 再び紐で縛る

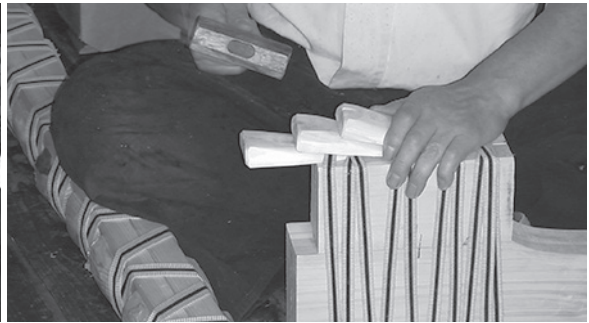


写真23 楔を打ち込む

3. 柄の仕上げ

2013年9月8日

- (1) 電気鋸で柄頭の形状を成形した (写真24)。
- (2) あらかじめ、造っておいた銅製の型を使い柄の断面を写す (写真25)。
- (3) 鑿や鉋で柄を成形した (写真26～31)。



写真24 柄頭を成形

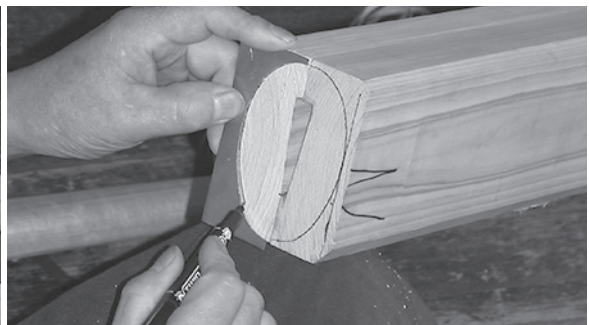


写真25 柄の断面を写す



写真26 柄の成形



写真27 柄の成形



写真28 柄の成形



写真29 柄の成形



写真30 柄の成形

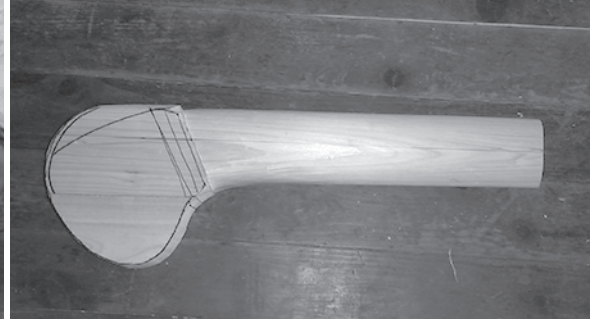


写真31 柄の成形



写真32 完成した刀身と鞘、柄

文化財と技術 第10号

2021年 9月30日 印刷

2021年10月 1日 発行

編集 鈴木 勉
発行 特定非営利活動法人 工芸文化研究所
所長 鈴木 勉
発行所 特定非営利活動法人 工芸文化研究所
所長 鈴木 勉
東京都台東区根岸5-9-19 (〒110-0003)
印刷 千葉刑務所
千葉県千葉市若葉区貝塚町192 (〒264-8585)